

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1340066 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	浄化槽設置整備事業					
担当部名	環境部		担当課名	環境二課		
実施方法	補助等		補助等の種類	その他補助金	実施主体	単独処理浄化槽及びびくみ取り便所使用者
開始・終了年度	昭和	62	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	下水道への切替が困難な地域において、生活排水による河川の水質汚濁対策として(合併)浄化槽の設置及び切替は急務である。					
内容 (手段・手法など)	下水道の整備されていない地域の生活雑排水対策を推進するために、単独処理浄化槽及び汲み取り便所を生活雑排水を併せて処理することができる合併処理浄化槽への切替を進めるために助成する。					
事業の対象	何を	浄化槽設置整備事業補助金				
	誰に	補助対象地域内において居住の用に供する建物に50人槽以下の合併処理浄化槽を設置する者				
	どのくらい	浄化槽の規模に応じた補助金額の1/3を助成(国・県・市で1/3ずつを助成)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,500	200	6,500	200	6,500	200
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,500	200	6,500	200	6,500	200

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		23,048	24,208	18,744
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	浄化槽設置費用	21,048	18,918	15,624
	生活排水切替	1,800	4,300	2,400
	単独処理浄化槽撤去	630	990	720
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		23,048	24,208	18,744

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	29,548	30,708	25,244

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	7,726	0	130
県支出金	7,726	7,936	6,248
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	15,452	7,936	6,378

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	14,096	22,772	18,866

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	浄化槽設置者	浄化槽設置者	浄化槽設置者
受益者数	45	45	37
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	313,244	506,044	509,892

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	合併処理浄化槽設置基数		単位	基
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	110	110	110	110
実績値	45	45	45	37

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	生活排水処理率		単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	87.6	87.7	87.7	88.2
実績値	87.0	87.4	87.4	87.5
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	下水道が利用できない地域において、生活排水による河川の水質汚濁対策として合併処理浄化槽の設置は必要である。 合併処理浄化槽への切替を推進するために、国、県及び市の3者で行う補助制度である。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	国・県の補助制度を活用した事業である。 合併処理浄化槽への切替を推進することを目的とした、合併処理浄化槽設置者の負担を軽減する制度である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	単独処理浄化槽及び汲み取り便所で生じる河川の水質汚濁を防止し、市民の衛生的な生活環境の維持に寄与している。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	下水道が利用できない者に対する助成である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	補助制度の周知を強化するとともに、合併処理浄化槽への切替を推進するには必要な制度であり、引き続き、実施していく。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1340066 \_ 002

## 【1.基本情報】

事業名	し尿収集業務委託					
担当部名	環境部		担当課名	環境二課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	27	年度～	年度	根拠法令・関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	一般廃棄物(し尿)の適正処理及び清潔で美しいまちづくり					
内容 (手段・手法など)	一般家庭又は施設の汲取り式便所(仮設トイレ含む)からの一般廃棄物(し尿)の収集及び運搬					
事業の 対象	何を	一般廃棄物(し尿)				
	誰に	し尿収集の申し込み世帯				
	どのくらい	収集間隔23日(一世帯あたり年間15.9回の収集及び運搬)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	33,800	1,040	25,350	780	25,350	780
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	2,060	200	2,060	200
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	33,800	1,040	27,410	980	27,410	980

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		43,101	42,353	41,152
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	収集委託	43,101	42,353	41,152
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		43,101	42,353	41,152

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	76,901	69,763	68,562

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円) 令和3年度決算額(千円) 令和4年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	35,098	34,568	33,060
その他	0	0	0
計(F)	35,098	34,568	33,060

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	41,803	35,195	35,502

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	35,098	34,568	33,060
受益者負担率(%)	45.6%	49.6%	48.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	102	87	88

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	定額制 ・ 従量制		単位	人 ・ kℓ
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2,405人 1,512kℓ	2,250人 1,491kℓ	2,115人 1,422kℓ	
実績値	2,250人 1,491kℓ	2,115人 1,422kℓ	1,959人 1,371kℓ	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	定額制 ・ 従量制		単位	人 ・ kℓ
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2,405人 1,512kℓ	2,250人 1,491kℓ	2,115人 1,422kℓ	
実績値	2,250人 1,491kℓ	2,115人 1,422kℓ	1,959人 1,371kℓ	
達成状況	○(達成)		○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	法により、市内の一般廃棄物(生活排水)の適正処理に必要な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。 法により、市内の一般廃棄物(生活排水)の適正処理に必要な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	既に民間事業者に収集運搬業務の一部を委託している。 既に民間事業者に収集運搬業務の一部を委託している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	一般廃棄物は適正に処理されている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受益者及び受益者負担は適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務として現状を維持する。